

令和7年度

、藤沢市がもっと良くなるために、

予算案を審査しました。



令和7年度8会計予算および1条例の計9議案は、3月4日に設置された予算等特別委員会において、9日間にわたり審査が行われ、3月19日の本会議で全て可決されました。

ここでは、予算等特別委員会の審査の概要をお知らせします。

令和7年度 予算等特別委員会委員

委員長 栗原 貴司 副委員長 谷津 英美

委員 土屋 俊則 味村耕太郎 小池 恵子 西 智 有賀 正義 町田 輝佳 井上 裕介

柳田 あゆ 安田 景輔 西川 誠志 今井みきこ 神尾 江里 佐野 洋 東木 久代

注目の質問と回答

注目 Point

1 未来を担う子どもの学習支援を

Q 子どもに人気のあるプログラミング事業を拡充しては。
A 令和7年度も6年度と同様に、小・中学生を主な対象とした各種講座・イベントを開催する予定である。加えて、受講人数の拡大、パソコンの貸与など参加を希望する全ての子どもたちがプログラミングに親しむことができる環境の整備に努めていく。



注目 Point

2 ケアラーへの具体的な支援を

Q ケアラーが抱える課題は多岐にわたっており、その困難さの度合いに応じた具体的な支援をすべきでは。
A 今後は、地域福祉推進課がハブ的な役割となり、ケアラー当事者やその世帯が抱える課題を把握することで、適切な制度につなげるなど支援機関と連携し、寄り添った支援が必要であると認識している。



注目 Point

3 まかせて会員の事務手続き簡略化を

Q ファミリー・サポート・センター事業における子育ての手助けができる方である「まかせて会員」の負担となっている活動報告などの事務手続きを簡略化すべきでは。
A 今後は、活動報告書の提出をメールフォームから読み込み、報告できるような形に変えていくことで、負担軽減に努めていきたい。



注目 Point

4 福祉大型ごみ収集周知の工夫を

Q 福祉大型ごみ収集運搬事業の実態と周知の工夫は。
A この事業は、大型ごみを持ち出せない高齢者などに対し、市がごみの持ち出しを無料で行っている。今後もチラシの配布などにより、より多くの市民への周知と利用促進に取り組む。



注目 Point

5 農業と福祉の連携促進を

Q 農福連携（※）促進事業について、来年度どのような取り組みをしていくか聞きたい。
A 事業の周知を行うとともに関係各課と連携を図り、農業者支援につなげるよう検討していく。
(※) 農福連携…障がい者などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。



注目 Point

6 利用しやすい自動車駐車場へ

Q 湘南台駅地下自動車駐車場の入出場時間を、小田急江ノ島線の始発・終電に合わせ、変更した方がよいのでは。
A 現在の指定管理期間である令和8年度までは、入出場時間の変更ができないが、次の指定管理期間となる9年度からは、指定管理の公募条件の入出場時間を午前5時から翌日午前1時までにしていきたいと考えている。



注目 Point

7 中学校給食の魅力づくりを

Q 給食を利用している生徒が引け目を感じないよう、給食の魅力づくりに、どのような取り組みをしているか。
A 本市では、給食の試食会を実施している。試食会は、給食の美味しさを周知することができ、喫食率を高める要因の一つと考えている。今後も試食会の実施を続けることで、魅力向上に努めていきたい。



各会派の意見・要望

ここでは、予算に対する各会派の意見・要望の要旨をお知らせします。各会派の賛否はP14、15をご覧ください。



民主クラブ

誰一人取り残さない政策の実現を

①子どもの権利条約の理念について、全ての子ども関係者で共有を。②窓口業務の協働事業は、廃止を含めた検討を。③市民全体の公共交通の利便性向上への対策を。④老朽化した地域子どもの家の早急な整備計画を。⑤産後ケアについて、デイサービスやアウトリーチについても、自己負担額の軽減を。⑥待機・保留児童対策のためにも、保育士のさらなる処遇改善を。⑦学校図書館専門員の専門性を反映した処遇・勤務体系の実現を。⑧児童クラブやその他の子ども施設も「障がいの有無に関わらず共に過ごせる場」とするよう検討を。⑨本市の携帯トイレの備蓄を、全市民3日分に増やすべき。⑩段ボールベッドを備蓄できるスペースの確保を。



日本共産党藤沢市議会議員団

財源を大型開発ではなく福祉、暮らしに回すこと

①修学旅行先を万博としているが、生徒の安全最優先な行事の在り方を検討すべき。②住民サービス低下の懸念がある窓口業務民間委託化は、やめるべき。③女性支援法に基づく調整会議は具体的な支援につながるよう努めること。④国保料一人2万円以上引き下げ、払える保険料にすべき。⑤国の言いなりで強引に推進したデジタル化は一度立ち止まるべき。⑥公共施設予約システムは、紙との併用に戻すべき。



湘南維新の会

共創推進のための環境整備を

①地域福祉の強化のため、全市民センターへ福祉職の配置を。②ふるさと納税の効果的な推進のため、官民連携の方策を。③介護の質の向上と事業者の負担軽減のため、ロボテラスの施設見学促進や事業者間の連携強化を。④大学や企業と連携し、空き住戸の活用を。



アクティブ藤沢

ブラックボックスを開き“共創”で社会課題解決に挑む市政へ

①村岡新駅周辺企業に共創パートナーとしてリカバリー方針を。②市長の企業団体献金を受けない姿勢を評価。③いじめ放置の学校ブラックボックス（※）を開こう。



市民クラブ藤沢

将来の財源不足を見据え、効率の良い市政運営を！

①全国で9割以上の自治体で廃止している職員の持ち家の住居手当は即刻廃止を。②公共施設予約システムは、市民の声を反映したシステム構築をすること。③データを分析し政策立案するためのデータ分析人材の育成を。④被災者への迅速かつ適切な支援を実現するため、防災備蓄資機材の管理をDXで効率化を。⑤介護者の負担軽減につながる生活支援ロボット普及のための具体的な支援体制を。⑥産前産後の支援としてヘルパー派遣事業の導入を。⑦各種ワクチン接種は市民の健康を第一に考え、市の判断で任意接種の助成を行うこと。⑧望まない受動喫煙を防止する取り組みの推進を。⑨観光客増加による交通渋滞緩和のための海上ルートの広域連携での強化を。⑩高齢者の移動支援としてコミュニティバスの導入を検討すること。⑪藤沢駅南口に短時間利用者が停められる駐輪場の整備を。⑫小中学校の防災用ヘルメットの導入に向けた具体的な検討を。



藤沢市公明党

最小の経費で最大の効果を

①耐震性不十分な住宅解消に向け、一層の努力を。②人命最優先で避難所の状況改善を。③トイレトレーラーの早期購入検討を。④路面下空洞調査の取り組み周知と、一層のブラッシュアップを。⑤公共施設予約システムは利用者の意見を聞き使いやすいように改善を。⑥おくやみ手続支援窓口のワンストップ型を。⑦産後ケア事業は、デイサービス、アウトリーチ利用者の負担軽減策に取り組むこと。⑧放課後児童クラブ事業の拡充を。⑨フリースクールへの補助を検討すべき。



Visionふじさわ

医療費適正化と予防医療充実で財政負担軽減を

①職員持ち家住居手当は廃止を。②民地の公共性高い場所のスズメバチ巣撤去は全額補助を。③福祉部窓口にコンシェルジュ設置と窓口ワンストップ化を。④ゴミ全品目戸別収集は集積所管理が継続する自治会などへ公平対応を。⑤辻堂駅周辺渋滞解消へ藤沢厚木線早期事業化を。



自由民主無所属の会

温故知新の精神から新たな市政運営を

①郷土づくり推進会議は、若者の柔軟な発想を取り入れ、具体的な取り組みを。②いわゆる「実子誘拐」については、子どもの権利擁護が図れる制度設計を。③歴史的建造物の積極的な再整備事業による資産化を。④村岡地区の新駅とまちづくりは、住民に寄り添った計画を。



We藤沢

500名超の入所保留児童解消へ向け新規保育所開設を！

①保育所の積極新規増設を。②中学校校舎建て替えの際には給食室の新設を行い順次自校式給食実現を。③費用対効果の低いふじさわ安心ダイヤル24事業は廃止を。



※予算等特別委員会の詳細は、市議会ホームページの議会録画放映および会議録（5月下旬ごろに掲載）をご覧ください。

用語説明

（※）ブラックボックス…内部でどのような処理をしているか、外部から不透明なもののこと。